

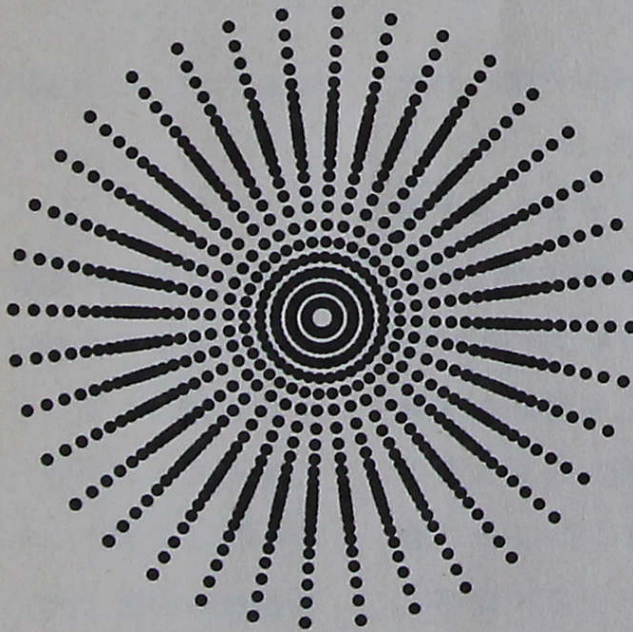
zen-on score

BRAHMS

SYMPHONIE 4

e moll op.98

Commented by K.SAKKA



Audenis
Valencia, 316 - BARCELONA

zen-on music

785

ブラームス

交響曲第4番 ホ短調 作品98

I Allegro non troppo

II Andante moderato

III Allegro giocoso

IV Allegro energico e passionato

解説 属 啓 成

初演 1885年10月25日 マイニンゲン

演奏時間 44分

ブラームス交響曲の最後を飾る第4番ホ短調は、1885年に完成された。つまりこれはブラームスの52才のときの作であって（ブラームスが生まれたのは1833年ハンブルグ）、死の12年前の作である（死んだのは1897年ウィーン）。

ブラームスが交響曲の作曲家としては晩成型で、その出発が非常におそかったことは、既に今までの3つの姉妹作品を解説しながらある程度詳しく述べたし、その理由としては、

かれの創作に対する慎重な心構えや、ベートーベンの9つの交響曲を崇高視するあまり、それに比肩し得るまでの円熟を待った結果と見られるむねを述べたつもりだが、もう1つの直接の原因は、1859年におけるかれの第1ピアノ協奏曲の初演が失敗に期したことにあったようである。これはブラームスが管弦楽を使用した最初の作品で、もともとは交響曲として計画したものを、慎重を期するあまりまだ交響曲として発表することにちゅうちょして、いったん2台のピアノのための奏鳴曲に書きなおしたが、それに満足できないでス